

## 祭・イベントにおける 仮設カフェ空間の提案 —縁日カフェまにゅある—

B6判・60P

根井 遥

Nei Haruka

デザイン情報コース

本研究は日本の文化である祭に着目した仮設カフェ空間の提案である。

祭の本来の意味、現代における存在価値、その発展性について考察した結果、祭が備えるべき交流空間としてのオープンカフェを提案するに至った。

また、本研究は提案するカフェ空間とその運営をマニュアル化することを目的とした。

研究方法としては、高岡市内のイベント開催時にオープンカフェを提案する実験を実施し、祭、カフェ、運営、交流に関する条件を導きだすことを試みた。その結果をもとに構造や空間、運営における地域性の魅力創出とコミュニケーションの円滑化についての考察を行いマニュアルの制作に取り組んだ。

マニュアルは研究内容を誰もが手に取りやすく、読み進めやすく、まとめるデザインとした。読み終わった読者の日本や祭を思う気持ちに少しでも変化を感じさせることができればと思う。

